

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ヨシヤ (シーランチ)

公表日 2026年3月25日

利用児童数 35

回収数 29

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	27	1		1	子どもの動きを見ていないから、広さはあっても適切かわからない。人数に応じた広さではあると思うが、年齢と共に動きが大きくなってきて、手狭に感じることがあるのではないかと感じる。	活動に応じて、スペースを分けています。また、身体を動かす活動では風船バレーや大縄跳び等設定遊びの活動内容を工夫しています。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	27	1		1	最低配置以上に配置しているのはわかるが、最低配置をそのものをもっと増やしたらよいと思う。現場で見えないからわからない。	配置基準以上に配置しています。子どもの特性や活動内容に合わせてグルーピングを行っています。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	29						
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	28		1		掃除されていて、清潔だと思うが、年季が入っているせいか、クッションフロアのところがすすけているように思う。子どもが気に入っていた。	すぐに対応しました。定期的に専用の洗剤でおそうじをします。	
適切な 支援 の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	26	2		1	登園回数が極端に少ないので、本人が自分の事を理解してもらっていないと感じているようだ。子どもの特性にあっているのか、現場での様子を見ていないのでよくわからない。	子どもの特性等に応じた支援をより一層行うことが出来る様に、職員が専門性を身につけることが出来る様に研修等を通して自己研鑽していきます。また、登園した時は、職員が必要に応じて、個別に関わり、安心感を持って過ごすことが出来る様に支援します。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	28	1					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	29						
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	29						
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	29						
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	29						
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	3	3	9	14	公園などで学校のお友だちとあったと聞くことがあるので交流しているのでは？		
保護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	29				丁寧に説明してもらった。		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	29				一つ一つ丁寧に説明をうけた。		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	29				グループカウンセリングやCSP親子発達支援があるのを知っていた。参加出来ない事が多い。	グループカウンセリング、CSP、親子発達に加えて保護者向けの研修など案内を行っています。	
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	29				面談だけでなく、日々電話やお迎え時など話す機会があった。		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29				面談だけでなく、電話やお迎え時など助言を受けた。		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	29				いつもお話を聞いてくれている。		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	26		1	2	いつも活動時に職員に支援を受けている。あるのは知っているが、参加していない。内容がよくわからない。参加していないから、実感がない。きょうだいがいいから分からない。	父母の活動(午後部)の際は、職員も必要な時は参加しています。	
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	28			1	クラスの先生は話を聞いてくれる。対応の整備がされていることを説明を受けたと思うがあまり覚えていない。	重要事項説明書に記載され、また玄関にも掲示されています。	
20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	29							

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	28			1	いつもがくぶりで配信してくれています。見えない事もある。よくわからない。	アプリを通じて発信しています。必要な場合は、個別にメールや電話、紙ベースでお伝えしています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	29					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	29					マニュアルに沿って行っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	29				毎月練習していると聞いている	月に一回避難訓練を行っています。火災、地震、大震災、水害等の訓練を行います。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	29					がくぶりを通じて発信をしています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	29				すぐにクリニックを受診してくれた。	怪我等があった場合はすぐにクリニックを受診しました。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	27	2			子どもに直接聞いていないからわからない。先生とは安心して関わっている。	お子さんが安心して通園することができるように、大人の側から関わっていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	23	4	1	1	子どもに直接聞いていないからわからない。一番の良いお友達と離れてしまいたい。来たら楽しいけど、外活動をしたいと言っている。行きたくないという事はなくなったが、本人の中に職員に対して壁があるように感じる。	楽しみに通うことができるように、大人が活動の幅を広げたり、積極的に関わっていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	27	2			本人がお友達がいないと言っている。	大人が積極的に関わり、また、お友達関係を広げていくことが出来るように、紹介し支援します。